

日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会
(SC 全国ネットワーク)
令和 7 年度第 2 回総会 レポート



去る令和 8 年 2 月 19 日(木)に開催された標記会議内容についてお知らせします。

協議 1. 令和 8 年度総合型地域スポーツクラブ育成計画・予算について

事務局から、「総合型地域スポーツクラブ育成プラン 2023-2027」(以下「育成プラン 2023-2027」という。)に基づく、令和 8 年度の育成計画(案)および予算(案)について説明し、協議の結果、内容について承認された。

〈主な意見・質問〉

発言者	内容
代表委員 (熊本県)	ブロック別クラブネットワークアクションの支出が 200 万円減になっているのは何故か。
事務局	近年の予算執行が当初予算を下回る状態が続いており、日本スポーツ振興センターとの間で JSPO 全体申請額の調整を行った結果、実態に即した予算へと減額することとなった。

協議 2. 総合型地域スポーツクラブ育成プラン 2023-2027 の進捗状況および令和 8 年度 of 取組について

事務局から「育成プラン 2023-2027」の進捗状況および令和 8 年度の取組について説明し、協議の結果、提案の通り承認された。

〈主な意見・質問〉

発言者	内容
代表委員 (富山県)	クラブマネジメント資格を取得しやすいような環境づくり(大学での聴講やハイブリッドでの開催等)を進めていただきたい。
事務局	日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格について、コーチングに関連する資格については多様な受講形態の確保を進めているが、マネジメント資格についても今後は受講者が受講しやすい形を模索していきたい。本件については、当協会スポーツ指導者育成部にも共有して検討を進めていく。

協議 3. 「総合型地域スポーツクラブ全国協議会基本規程」の改定について(クォータ制導入に伴う改定)

事務局から SC 全国ネットワーク代表委員の女性比率を指定するクォータ制導入と、それに伴う総合型地域スポーツクラブ全国協議会「基本規程」の改定案について説明し、協議の結果、規程の改定が承認された。なお、改定内容の施行は、次回の役員改選にあたる令和 9(2027)年度JSP0定時評議員会の終結の時からとなる。改定内容は以下の通り。

現行	改定後
第 1 条～第 6 条 〈省略〉	第 1 条～第 6 条 〈省略〉
第4章 役員 第7条(種類及び定数) 全国協議会に、次の役員を置く。 (1)幹事長 1名 (2)副幹事長3名以内 (3)常任幹事12名以上18名以内 (4)代表委員47名以内	第4章 役員 第7条(種類及び定数) 全国協議会に、次の役員を置く。 (1)幹事長 1名 (2)副幹事長3名以内 (3)常任幹事12名以上18名以内 (4)代表委員94名以内
第8条(代表委員の選出) 代表委員は、都道府県協議会が、その役員の中から1名を選出する。	第8条(代表委員の選出) 代表委員は、都道府県協議会が、その役員の中から原則として男女1名ずつの計2名を選出する。
第 9 条～第 35 条 〈省略〉	第 9 条～第 35 条 〈省略〉
附則1～6 〈省略〉	附則1～6 〈省略〉 <u>附則7</u> 本規程第7条と第8条を以下のとおり令和8年3月2日に改定。この改定は、令和9年度本会定時評議員会の終結の時から施行する。 ・第7条(4)代表委員「47名以内」を「94名以内」に改定 ・第8条内の「1名」を「原則として男女1名ずつの計2名」に改定

※総会出席に係る JSP0 からの旅費は、2 名ともに支給する

〈主な意見・質問〉

発言者	内容
代表委員 (宮崎県)	改定案の内容について賛成。男女共同参画という名称を見直すことについて今後検討していけば問題ないかと思う。
代表委員 (奈良県)	DE&Iの視点を含めた性別だけに限定しない取組を行っていく段階的な方向性を示していただいたことでより分かりやすくなった。
代表委員 (鳥取県)	全国だけでなく、都道府県協議会の女性役員数も増やしていくことが出来るような啓発も今後必要ではないか。
代表委員 (熊本県)	本規程の改定を契機として、各都道府県協議会においても、所属する総合型クラブに対して働きかけを行っていく必要がある。
代表委員 (石川県)	若手の人材育成も課題となっている中で、若い人材も巻き込んでいく施策が必要なのではないか。

報告 1. 総合型地域スポーツクラブ登録認証制度の運用について

① 新登録システムの構築について

事務局から、総合型クラブ新登録システムの構築、および新システムへの移行に向けたスケジュールを報告した。システム移行にあたり、2027年1月には、システムの開発が完了し、本番環境でのテストを開始する想定としており、その後、諸規程の改定等の準備を経て、2027年9月から開始される2028年度登録申請から本格的な運用を開始する。

〈主な意見・質問〉

なし

② 部活動の地域展開タイプについて

事務局から、認証制度「部活動の地域展開タイプ」において、令和7年度は19クラブの申請があり、計10クラブを認証クラブとして認定したこと、令和8年度の手続きスケジュールについて報告した。

〈主な意見・質問〉

なし

③ 部活動の地域展開タイプ認定証授与式について

事務局から、令和7年度「部活動の地域展開タイプ」認証クラブを対象とした認定証授与式の概要を報告した。授与式は令和8年3月25日(水)に開催する。

〈主な意見・質問〉

なし

④ 障がい者のスポーツ推進タイプについて

事務局から、認証制度「障がい者のスポーツ推進タイプ」を令和8年度申請時から運用開始したことおよび令和8年度の手続きスケジュールについて報告した。

〈主な意見・質問〉

なし

⑤ 健康寿命の延伸タイプ(仮称)について

事務局から、認証制度「健康寿命の延伸タイプ(仮称)」について、ワーキンググループにおける現状の検討状況を報告した。本タイプは令和9年度申請受付開始に向けて引き続き基準等の検討を進めていく。

〈主な意見・質問〉

なし

報告 2. 総合型クラブとスポーツ少年団の連携体制の構築について

事務局から総合型クラブとスポーツ少年団の連携体制の構築について、令和 7 年度の地域スポーツ連携促進会議の検討状況について報告した。

〈意見・質問〉

発言者	内容
代表委員 (福岡県)	時代の流れが大きく変わる中で、連携を進めていくと現場での実態とかけ離れていく可能性(団員の減少等)もある。この点についてどのように考えているのか。
事務局	現在、連携のゴールイメージについて検討を進めているが、現在のゴールイメージでは現場で混乱を招いていることも把握している。より現場の方々に分かりやすい形で、JSPO として連携を通じて何を目指しているのかをより明らかにしていけるよう引き続き検討を進めていく。

報告 3. SC 全国ネットワークの取組(令和 7 年度の取組実績)について

事務局から令和 7 年度の SC 全国ネットワークの取組について、企画部会、広報部会、男女共同参画部会の 3 つの専門部会と処分審査会の取組について報告した。

〈意見・質問〉

なし

報告 4. ブロック別クラブネットワークアクションの見直しについて

事務局から、ブロック別クラブネットワークアクションの見直しについて、都道府県協議会を対象に実施した意見聴取の結果および今後の見直しの方針について報告した。今後は令和 8 年度に開催される常任幹事会にて見直し案の検討を重ね、令和 9 年 1 月に開催される常任幹事会にて、見直しの最終案を確定する予定。

〈意見・質問〉

なし

報告 5. 「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」について

事務局から、令和 7 年 12 月末に発表された「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」の概要を報告した。

〈意見・質問〉

発言者	内容
代表委員 (福島県)	中体連主催大会への総合型クラブの参加について現在どのように協議されているのか。
事務局	中央組織についても議論が進んでいるが、各都道府県レベルで、実態に合わせて大会の基準を定めており、課題も確認し検討をしているところである。今後、地域クラブ活動の認定が進めば、認定を受けているところが大会に参加できるようなことも検討されていると聞いている。
代表委員 (滋賀県)	クラブの保険加入について、全国協議会として、何か事案が発生したときに備えてシステムを構築した方がよいのではないか。
事務局	子どもたちの安全が最優先事項であるため、スポーツ安全協会と引き続き情報交換等を行い、対応を検討できればと考える。